

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型サービスの意義や役割、入居者への思いを込めた独自の理念について、職員全員で検討する事が期待される。	事業所全体の理念だけでなく、各事業により、入居者の状況等の変化があるため、地域密着型独自の理念を作成し、職員間で疎通できるようにする。	地域密着型独自の理念を作成し、職員全体で地域密着型のサービスの意義や役割を理解するように、朝・夕・会議等で確認しサービスの実践に役立てる。	2ヶ月
2	4	現在は運営推進委員会の回数が少なく、参加者に民生委員や近隣のボランティア、消防関係者、老人会等の参加が難しく地域に密着した事業所となるようにしたい。	民生委員、近隣のボランティア、消防関係者、老人会等の協力を得ながら、回数を増やし、地域に密着した親しまれる事業所となるようにする。	近隣の住民との距離があり、関わりが少ないが、自治会長に相談し、自治会に入会できるようお願いをする。自治会へ入会し、地域密着型サービスの意義を理解してもらうよう説明等を行う。	3ヶ月
3	36	誇りやプライバシーの確保をケアの基本としているが、トイレの仕切りがカーテンになってしまっていて入居者にとって安心して排泄が出来ない状況にある。	入居者にとって安心して排泄が出来る環境を作る為にトイレをの仕切りをカーテンではなく扉にしたい。扉が設置できるまでは仕切りをおくなどの対応をする。	カーテンの仕切りのトイレはなるべく使用しないように利用者に呼びかけ、扉のついたトイレを使用してもらうようにする。使用する場合は仕切りを置き、安心して利用してもらえるように対応し、徐々にカーテン式の仕切りを扉に出来るようにしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。